＜速報＞
平成３１年度当初予算（案）概要
平成３１年２月１４日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
都市公園複合遊具更新事業

1 事業概要

【目的】
市民の方から要望の多かった公園施設のうち、既存の大型遊具を安全で親しみのある魅力的な複合遊具にリニューアルすることにより、未来を担う子供達の利用促進と公園のにぎわい化を図ります。

【内容】
既設の老朽化した大型遊具を近代的な複合遊具に更新します。
設置場所：久下第１公園（昭和６３年設置）
佐谷田公園　（昭和５６年設置）

【経過】
都市公園２箇所の遊具を更新するもので、設置されてから３０年以上経過しており、老朽化が進行しています。特に久下第１公園は木製のため、安全性等を考慮し更新するものです。

【効果】
大型遊具を更新することにより、公園利用者のさらなる増加や、満足度の向上が期待されます。

2 特徴やPRポイント

特に安全性に配慮して鉄製及び木製の遊具から強化繊維プラスチック製（ＦＲＰ製）のものに入れ替えるため、子供たちを中心とした多くの利用者にとって快適な空間になると期待しています。

3 その他

今後、１０年間で１８箇所の大型遊具の更新を予定しています。

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　都市整備部　公園緑地課　担当　鈴木
連絡先　TEL0493-39-4806（直通）　内線

＜速報＞
平成３１年度当初予算（案）概要
平成３１年２月１４日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
「温暖化対策」地中熱利用システム普及推進事業

1 事業概要

【目的】
エネルギーの地産地消及びエネルギー使用の効率化等を図り、地球環境への負荷を軽減します。

【内容】
「地中熱利用システム」を設置した者に対して、設置費用の一部を補助します（10万円を上限）。

【影響】
再生可能エネルギーの普及拡大、エネルギー使用の効率化及び電力需要の抑制等が図られます。

【効果】
地中熱利用システムは、年間を通じて、１５度前後の一定の温度に保たれている地中熱を利用するため、外気を利用した一般的なエアコンより少ないエネルギーで冷暖房の効果が得られます。地中熱利用システムを設置することは、省エネ意識を醸成するとともに、節電や二酸化炭素の排出量削減に有効です。

2 特徴やPRポイント

埼玉県作成の「地中熱ポテンシャルマップ」によると、本市は地中熱を取り出しやすく、利用に適した地域となっています。また、地中熱は、太陽光や風力と異なり、一年を通して安定した再生可能エネルギーとなっています。
現在、本市では、「再生可能エネルギー・省エネルギー設備設置費補助金」を交付しておりますが、今後、更に環境にやさしい再生可能エネルギーシステムとして期待されている、地中熱利用システムに対する補助制度を新設し、温暖化対策を推進します。

3 その他

地中熱利用システムの導入にはおおむね300～400万円程度必要（補助　10万円を上限）。
埼玉県は20万円の補助金あり（併用可能）。

※ 資料の有無（　無　）

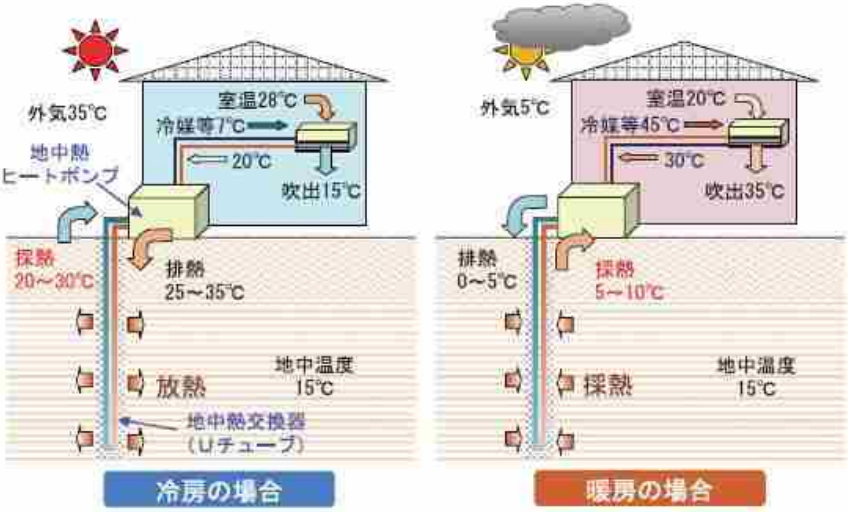
担当者　環境部　環境政策課　担当　西村
連絡先　TEL　048-536-1547　内線

地中熱ヒートポンプシステムの特徴

地中熱交換器を設置して採熱・放熱

地中熱ヒートポンプシステムの中で普及率８割以上を占めるクローズドループ方式は、地中熱交換器、地中熱ヒートポンプ、室内機などから構成されます。

この地中熱交換器には垂直型と水平型がありますが、設置スペースが小さくて済む垂直型が広く普及しています。垂直型は、深さ数10～100m程度のボアホールにUチューブ（U字管ともいう）を挿入するもので、熱負荷に応じて必要総延長（深さ×本数）が決められます。



安定した地中温度を利用するメリット

注）図中の温度はイメージです。

垂直型地中熱交換器の設置状況

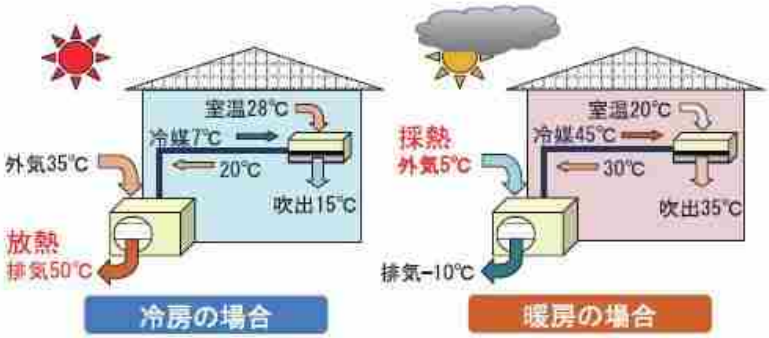
ボアホール掘削作業

Uチューブ（下端）

Uチューブ挿入作業（ダブルUチューブ）

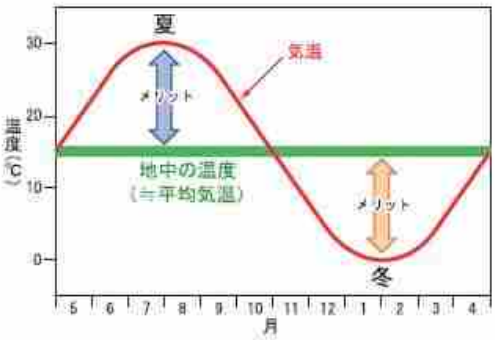
地中熱ヒートポンプ（室外機）

冷暖房時に大きな節電効果



注）図中の温度はイメージです。

空気熱源ヒートポンプのイメージ



安定した地中温度を利用するメリット

空気熱源ヒートポンプは、屋外の空気を熱源にしているために、夏は35℃を超えるような暑い外気から温度を下げ、冬は５℃くらいの冷たい外気から温度を上げなければなりません。

一方、地中熱ヒートポンプは、外気温に比べ夏は15～20℃低温の、冬は10～15℃高温の安定した地中熱を利用することで、空気熱源ヒートポンプで同じ温度の熱を作り出すのに少ない電力で済み、その結果節電が可能になります。

「地中熱ヒートポンプシステム／環境省 水・大気環境局　土壌環境課 地下水・地盤環境室」より抜粋

＜速報＞
平成３１年度当初予算（案）概要
平成３１年２月１４日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
「温暖化対策」電気自動車充給電設備普及推進事業

1 事業概要

【目的】
エネルギーの地産地消及びエネルギー使用の効率化等を図り、地球環境への負荷を軽減します。

【内容】
電気自動車充給電設備（Ｖ２Ｈ／Vehicle to Home）を設置した者に対し、設置費用の一部を補助します（5万円を上限）。

【影響】
再生可能エネルギーの普及拡大、エネルギー使用の効率化及び電力需要の制御等が図られます。

【効果】
電気自動車充給電設備（Ｖ２Ｈ）は、電気自動車やプラグインハイブリッド車を蓄電池として住宅の電源に利用できる設備で、停電や災害時に非常電源として利用したり、電力需要のピーク時に電源として使用することにより、電力需要のピークシフトに貢献できます。
また、太陽光発電の売電価格が下がる中、電気自動車を蓄電池としても活用することにより光熱費を削減できます。また併せて、排気ガスの排出が無くクリーンな電気自動車の普及促進にも寄与できます。

2 特徴やPRポイント

現在、本市では、地球温暖化対策推進のため、「再生可能エネルギー・省エネルギー設備設置費補助金」や、「スマートハウスの補助金」を交付しています。
さらに、電気自動車を蓄電池としても活用できる電気自動車充給電設備（Ｖ２Ｈ）に対する補助制度を新設することにより、省エネルギー対策、温暖化対策の一層の推進を図ります。

3 その他

市販されている国産乗用電気自動車のバッテリーで試算すると、一般家庭の平均的電気使用量で最大３日分の電気がまかなえるとされています。

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　環境部　環境政策課　担当　西村
連絡先　TEL　048-536-1547　内線

（資料）「温暖化対策」電気自動車充給電設備普及推進事業

EVと家庭をつなぐ給電システム-V2H-

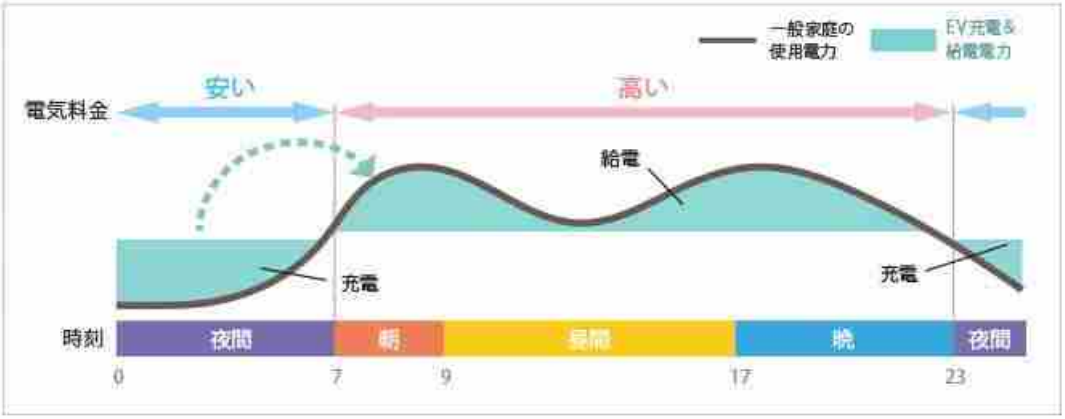
V2Hは"Vehicle to Home"の略称で、EV（Electric Vehicle）等に搭載された電池から家庭（Home)に電力を供給できる機能です。
EVの電池を非常用電源として使用したり、
EVに貯めた電気をうまく利用して電気代を節約することもできます。

クルマのバッテリーに蓄えた電気を非常用電源として活用

「V2H機能付き充電器」を経由して、EVのバッテリーに蓄えた電気を家庭側に供給できます。※1
これにより、たとえ停電が発生したとしても、EVに貯めた電気を非常用電源として利用できるので安心です。

※1　V2H対応のEVまたはPHV・PHEVで、V2H機能が利用できます。

電力供給をコントロールすれば家計の負担もグッと抑制できる



※次世代自動車振興センター調べ

電気料金の安い夜間にEVに充電し、それを昼間に使うことで電気代を節約することができます。※2
また、電気使用のピーク時にEVから電気を供給すれば、電力会社の電力需要のピークシフトに貢献します。（V2Hと同様の機能を持つ「蓄電池内蔵型充電器」も市販されています）

※2　夜間の電気料金が安い電力契約を行う必要があります。

出典）一般社団法人　次世代自動車振興センターホームページより

＜速報＞
平成３１年度当初予算（案）概要
平成３１年２月１４日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等

籠原駅南口線道路改良事業

1 事業概要

【目的】
籠原駅へのアクセス向上及び歩行者等の安全確保を目的として幹線道路の整備を進めます。

【内容】
籠原駅南口線は、ＪＲ籠原駅南口と県道深谷東松山線を南北に結ぶ都市計画道路で、籠原駅南口から深谷東松山線までの未整備区間約８２０ｍの整備を進めます。
平成３１年度は、用地買収及び物件補償に取り組み、整備促進を図ります。

【効果】
歩道が整備されることにより、小中学校の児童、生徒及びＪＲ籠原駅利用者の安全の確保を図ります。また、周辺住民の利便性の向上を図ります。

2 特徴やPRポイント

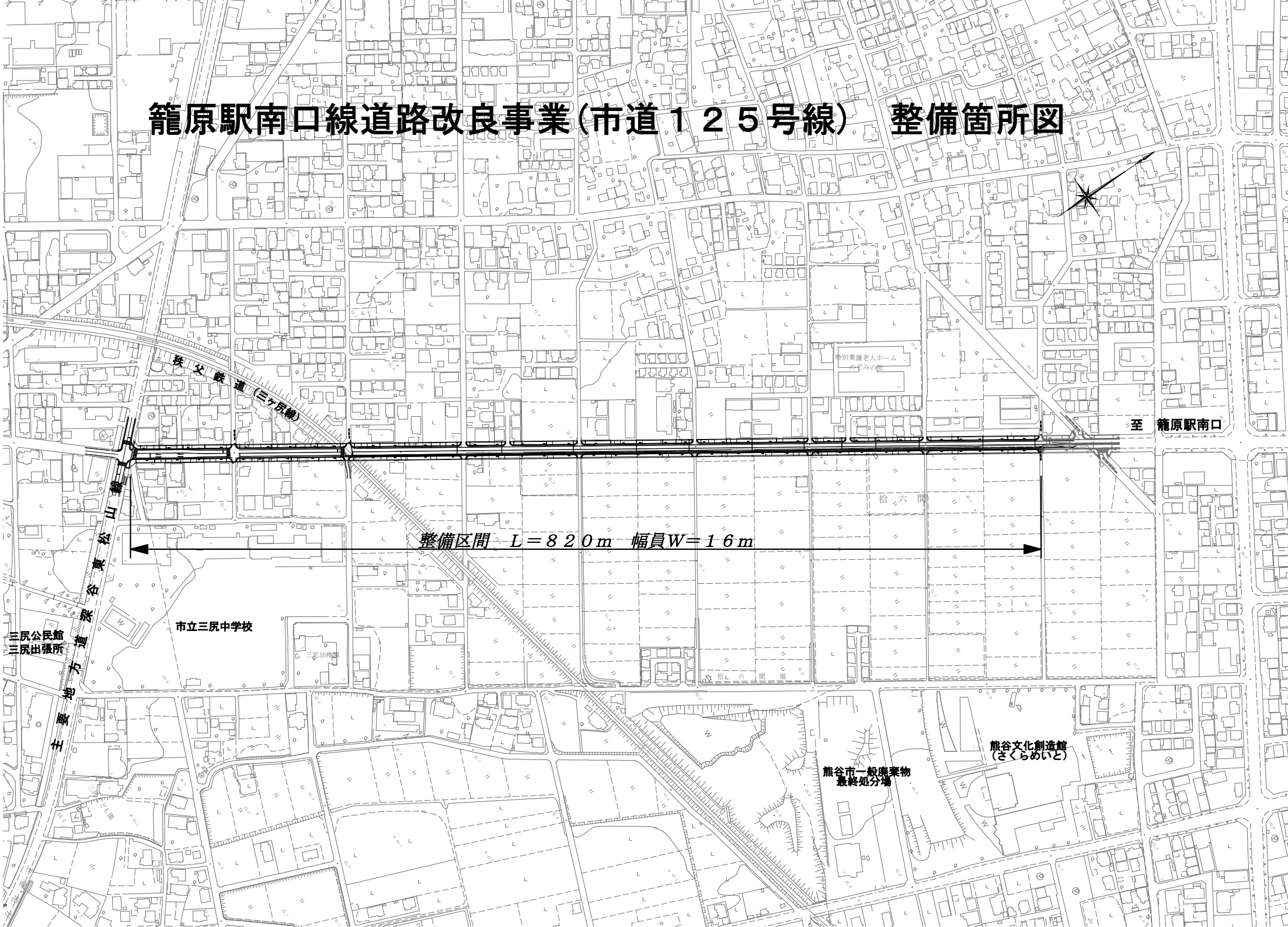
公共下水道の整備を併せて進めることにより、沿線住民の快適な生活環境の拡充も図ります。

3 その他

※ 資料の有無（ 有 ・ 無 ）

担当者　建設部　道路課　担当　舟橋
連絡先　（道路課）TEL　０４８－５２４－１１１１　内線　351

籠原駅南口線道路改良事業（市道１２５号線）　整備箇所図



＜速報＞
平成３１年度当初予算（案）概要
平成３１年２月１４日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
市道９０００７号線道路改良事業

１ 事業概要

【目的】
吉岡地区の工業地域へのアクセス向上及び渋滞緩和を目的とした幹線道路の整備促進を図ります。

【内容】
県道武蔵丘陵森林公園広瀬線から吉岡地区の工業地域を結ぶ延長約１４００ｍの幹線道路を整備します。平成３１年度は、詳細設計及び用地買収、物件補償に取り組み整備促進を図ります。

【効果】
熊谷大橋から吉岡地区の工業地域へのアクセス性の向上を図るとともに、江南地区と中心市街地を結ぶ地域拠点間の連携強化を図ります。

２ 特徴やPRポイント

道路網の強化を図ることにより、吉岡地区の工業地域の利便性を促進します。

３ その他

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　建設部　道路課　担当　舟橋、大崎
連絡先　（道路課）TEL　０４８－５２４－１１１１　内線　350

＜速報＞
平成３１年度当初予算（案）概要
平成３１年２月１４日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
生活道路及び排水路の整備の推進

1 事業概要

【目的】
地域の利便性及び通行の安全性に配慮した生活道路の整備と、道路の維持管理や排水路整備を行い生活環境の改善を図ります。

【内容】
・道路整備事業
陳情・要望による、地域の狭あいな生活道路の拡幅改良、側溝整備及び舗装新設等を「熊谷市道路整備の事業実施に関する要綱」に基づき、必要性・緊急性を評価し実施します。
・道路維持経費
幹線道路や生活道路の老朽化した舗装補修と街路樹等の管理を行います。
・排水路等維持管理経費
農業用用排水路を除く排水路環境改善のための整備や除草等の管理を行います。

【効果】
生活道路の利便性の向上、道路の適切な維持管理により良好な生活環境を創出します。また、排水路整備等により適正な流れを確保し、水路環境の改善を図ります。

2 特徴やPRポイント

・道路整備事業
「熊谷市道路整備の事業実施に関する要綱」（道路事業評価システム）により、公平性を確保し、効果的に事業を進めています。
・道路維持経費
積極的に補修や整備を行うことにより、地域の利便性の向上や安全の確保が図られます。
・排水路等維持管理経費
除草作業の軽減を図るため、防草コンクリート施工による恒久的な対策を講じます。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者	建設部	道路課	担当	宇佐美
	建設部	維持課	担当	田中
	建設部	河川課	担当	石原
連絡先	（道路課）	TEL　０４８－５２４－１１１１	内線	352
	（維持課）	TEL　０４８－５２４－１１１１	内線	540
	（河川課）	TEL　０４８－５２４－１１１１	内線	355

＜速報＞
平成３１年度当初予算（案）概要
平成31年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
小学校･中学校校舎大規模改造事業

1 事業概要

【目的】
児童生徒の教育環境の向上を図ることを目的とし、校舎の老朽化対策を行います。

【内容】
校舎の老朽化対策として、外壁改修、屋上防水等の工事を校舎の経年数や劣化度等を勘案し、毎年度計画的に実施します。
平成３１年度は、次の３校（一部の校舎）の工事を実施します。
小学校（２校）・・・三尻小学校・熊谷南小学校
中学校（１校）・・・大原中学校

【経緯・経過】
学校施設については、校舎や屋内運動場の耐震化工事が完了しましたので、今後は経年劣化した校舎の老朽化対策に取り組みます。
なお、この事業は、熊谷市アセットマネジメント基本方針・基本計画を踏まえながら実施します。

【影響・効果】
施設の老朽化対策を図ることで児童生徒が安全で快適な学校生活を送ることができます。

2 特徴やPRポイント

校舎の改修により、学校施設の安全性・快適性が高まり、教育環境も向上します。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　教育委員会　教育総務課　担当　岡田･茂木
連絡先　TEL048-524-1111　内線　371

＜速報＞
平成３１年度当初予算（案）概要
平成３１年２月１４日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
小学校･中学校トイレ整備事業

1 事業概要

【目的】
児童生徒の教育環境の向上を図るため、学校トイレの整備を計画的に実施します。

【内容】
学校トイレの老朽化対策として、給排水管の改修、トイレの洋式化、床の乾式化等の工事を校舎の経年数等を勘案し、毎年度計画的に実施します。
平成３１年度は、次の５校の工事を実施します。
小学校（３校）・・・石原小学校・大麻生小学校・江南北小学校・
中学校（２校）・・・熊谷東中学校・妻沼東中学校

【経緯・経過】
学校トイレは、老朽化が顕著なため、平成３０年度より改修事業を開始し、小・中学校あわせて９校の整備を実施いたしました。
平成３１年度は５校の整備を予定しており、今後も、児童生徒に対する快適性や衛生面を確保するという観点から、計画的に実施いたします。

【影響・効果】
学校トイレは児童生徒が学校生活を送る上で欠かせない空間であり、整備を行うことで児童生徒が気持ちのよい学校生活を送ることができます。

2 特徴やPRポイント

これまでの汚い・臭い・暗いなどのネガティブなイメージの学校トイレを、明るく、清潔感のある空間に生まれ変わるよう整備を進めていきます。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　教育委員会　教育総務課　担当　岡田･茂木
連絡先　TEL048-524-1111　内線　371

＜速報＞
平成３１年度当初予算（案）概要
平成３１年２月１４日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
小中学校ICT環境整備事業

1 事業概要

【目的】
「学力日本一」を目指す熊谷教育を進めるにあたり、「大型提示装置」「指導者用コンピュータ」「実物投影機」を小学校第６学年の普通教室と少人数教室、中学校特別教室に導入し、子供たちの情報活用能力の育成と教職員の指導力向上・負担軽減を図ります。

【内容】
○「大型提示装置」「指導者用コンピュータ」「実物投影機」を小学校第６学年の全普通教室５６学級と少人数教室２９学級、中学校特別教室１６学級に１セットずつ、合計１０１セット導入します。
○これまで学んできた普通教室内での学習方法を生かし、ＩＣＴを効果的に活用した学習方法を身に付けることが、発達段階から効果的だと考えた小学校第６学年と中学校に導入します。

【効果】
○実物投影機のカメラの下にノートを置き、大型提示装置に映せば、子供たちの発表が分かりやすいものとなり、子供たちの考えを深めることができます。
○家庭科の玉結びなど、動きのある細かい作業を実物投影機のカメラの下で行い、大型提示装置に映せば、玉結びの方法を分かりやすく子供たちに理解させることができます。
○指導者用コンピュータと各校に配布したデジタル教科書のソフトを合わせて使い、大型提示装置に映せば、教科書が大きく映ったり動画を見せたりできるので、教職員の説明が分かりやすいものとなります。また、教職員の教材づくりの負担が軽減します。
○理科では、火山の噴火など普段目にすることができない自然現象等を、指導者用コンピュータとＤＶＤソフトを合わせて使い、大型提示装置に映せば、噴火の様子から見取れることを話し合わせることができます。

2 特徴やPRポイント

○小学校第６学年の普通教室や少人数教室、中学校特別教室に常設するため、常設された教室では、必要に応じてすぐに使えます。また、準備や片付けのための負担が軽減できます。
○各機器は、移動もできるため、必要に応じて他学年、他教科でも活用できます。
○地域の会議や教職員の研修等でも活用できます。
○中学校で特別教室に導入を行うのは、様々な教科等で学校の実態に応じて活用できるようにするためです。

3 その他

○大型提示装置…導入を予定しているのは、５０インチ以上の大型モニター。
○小学校には、国語科、算数科、道徳科のデジタル教科書を配布してあります。中学校には、英語科のデジタル教科書を配布してあります。

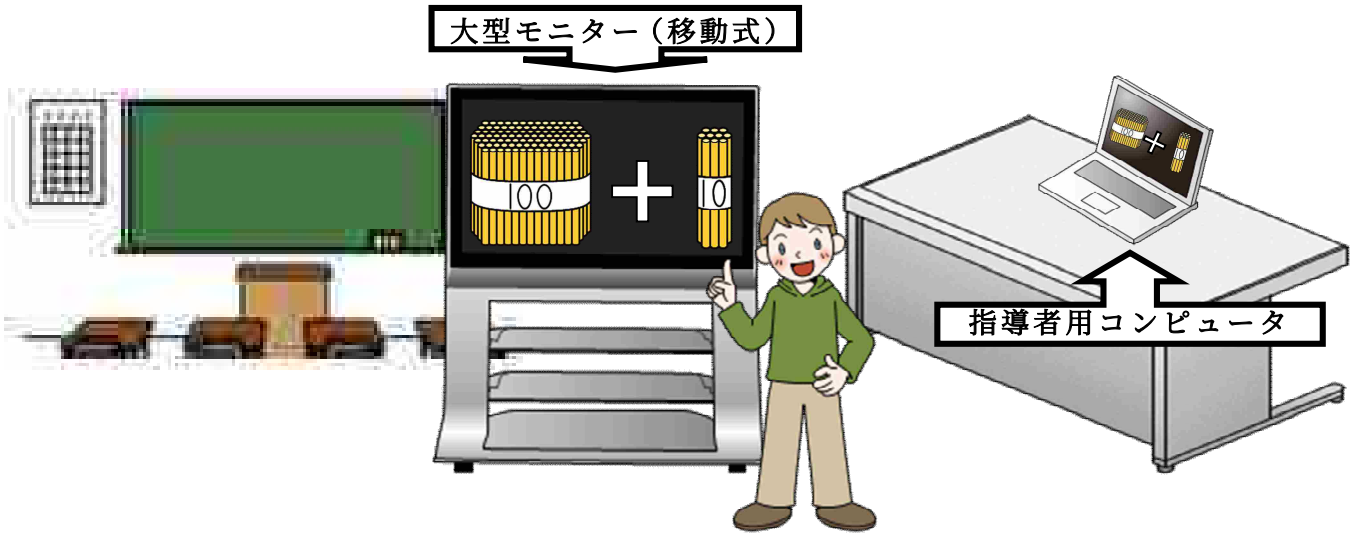
※ 資料の有無（ 有 ・ 無 ）

担当者　教育委員会　学校教育課　担当　田口清和
連絡先　TEL　０４８－５２４－１１１１　内線　385

熊谷市 ICT 環境整備イメージ

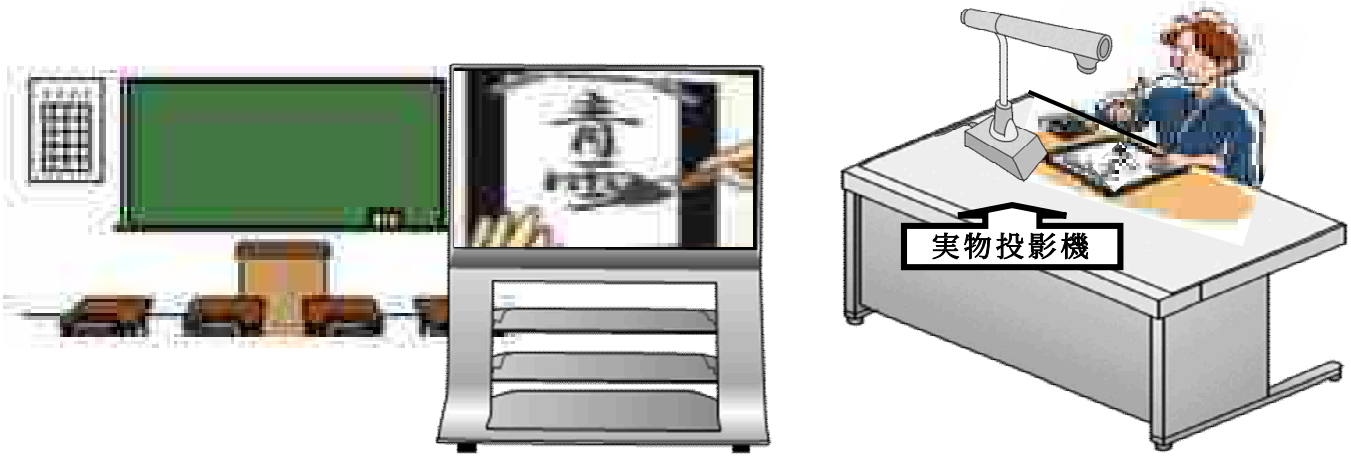
1　大型モニターと指導者用コンピュータの活用イメージ

（指導者用コンピュータに入っているデジタル教科書や教育用ソフトが大型モニターに映る）



2　大型モニターと実物投影機の活用イメージ

（実物投影機のカメラに映っているものが大型モニターに映る）



＜速報＞
平成３１年度当初予算（案）概要
平成３１年２月１４日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
金子兜太顕彰事業

1 事業概要

【目的】
昨年９８歳で惜しまれつつ亡くなられた、本市名誉市民の金子兜太氏を追悼し、その功績を称えるとともに、氏の作品や活動をとおして、俳句の楽しさ、日本語の美しさ及び郷土の魅力を再認識することを目的とします。

【内容】
１　**追悼・金子兜太～現代俳句の牽引者～展**
平成３１年４月２日㈫～５月１９日㈰の期間で、熊谷市立熊谷図書館３階美術展示室にて実施します（入場料無料）。氏の句作の出発点や、俳句の「造形論」を打ち出した氏の代表的な作品を掛軸等で展示し、また本市や出身地である皆野町に建立された句碑の写真パネルも併せて展示します。

２　**「追悼・金子兜太」記念講演会**
平成３１年５月１８日㈯に文化会館にて実施します（入場料無料、４５０名（往復はがきにて抽選、４月２１日必着）。
金子兜太氏と深い親交があった「黒田杏子（くろだ　ももこ）」先生を招き、金子兜太氏追悼記念講演会を実施します。

３　**金子兜太句碑めぐりバスツアー**
平成３１年１１月に実施予定（先着６０名）。
市内７か所に建立された金子兜太氏の句碑を１日かけて巡るバスツアーを実施します。

2 特徴やPRポイント

１　追悼・金子兜太～現代俳句の牽引者～展
氏が生前に書いた自身の作品解説も交えながら展示し、それぞれの作品に込められた心情や句作の背景、「人間を詠む」ことを大きなテーマの一つに掲げた、氏の句作に対する情熱を感じることができます。

２　「追悼・金子兜太」記念講演会
講師である黒田杏子先生は金子兜太氏と全国各地で講演会を行うなど深い親交があり、氏に関する著書も多数出版しています。

３　金子兜太句碑めぐりバスツアー
１回３０人で２回に分けて日曜日に実施します。１日かけて市内７か所にある句碑を巡ります。
移動中には添乗する市教育委員会社会教育課文化財保護係職員が句の解説を行い、俳句の楽しさを学びながらのツアーとなります。

3 その他

お問合せ先
展示会及び記念講演会：市立熊谷図書館　TEL048-525-9463
バスツアー　　：社会教育課　　TEL048-524-1111（内線389）

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　　教育委員会　　社会教育課　担当　加藤
連絡先　TEL048-524-1111　　内線　389

＜速報＞
平成３１年度当初予算（案）概要
平成３１年２月１４日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
住宅リフォーム資金補助事業

1 事業概要

【目的】
市内経済の活性化及び市民の居住環境の向上を図るため、市民が市内の施工業者に依頼して行う住宅リフォーム工事の経費を一部補助します。

【内容】
①補助対象工事：工事費が２０万円以上（消費税別）で、市内の施工業者が行う住宅リフォーム工事が対象です。
②補助率：税抜き工事費の５％に相当する額（千円未満切り捨て）
③補助限度額：１０万円
④補助金は「まち元気」熊谷市商品券で交付します。

【影響・効果】
住宅リフォーム工事の経費を一部補助することにより、市内施工業者の受注の増加につながります。併せて、「まち元気」熊谷市商品券を交付することにより市内経済の活性化が期待できます。
また、本事業を契機として市内の住宅リフォーム工事件数が増加することにより、市民の居住環境の向上も図ることができます。

2 特徴やPRポイント

・一度補助金の交付を受けた場合でも、経過措置を設けることで、再度申請することができます。

3 その他

※ 資料の有無（　無　）

担当者　産業振興部　商工業振興課　担当　笛木
連絡先　TEL048-524-1111　内線　477

＜速報＞
平成３１年度当初予算（案）概要
平成３１年２月１４日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
低所得者･子育て世帯プレミアム付商品券発行事業

1 事業概要

【目的】
消費税率の引上げが低所得者・子育て世帯の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起するため、低所得者・子育て世帯向けのプレミアム付き商品券を発行します。
【内容】
＜購入対象者＞
①住民税非課税者（課税基準日：平成３１年１月１日）
※住民税課税者と生計同一の配偶者・扶養親族、生活保護被保護者等は除く。
②３歳未満の子が属する世帯の世帯主（基準日平成３１年６月１日）
＜購入限度額＞
上記①の該当者：利用可能額２．５万円（購入額２万円）
上記②の該当者：利用可能額２．５万円（購入額２万円）×３歳未満の子の数
分割販売（４千円×５回まで）が可能となる予定です。
＜割引率＞２０％
＜使用可能期間＞平成３１年１０月から平成３２年３月までの間の予定です。
＜取扱事業者＞市内の店舗を対象とします。
【効果】
所得が少ない方ほど負担が重くなる消費税の「逆進性」の緩和とともに、市内の経済の活性化が期待できます。

2 特徴やPRポイント

全市区町村において、実施します。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者	産業振興部	商工業振興課	担当	浅見
連絡先	TEL		内線	499

＜速報＞
平成３１年度当初予算（案）概要
平成３１年２月１４日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
農地利用最適化推進事業

1 事業概要

【目的】
農業者の高齢化や後継者不足等の理由により年々増加している遊休農地（荒廃農地）を解消するため、ＪＡくまがやと連携して荒廃した遊休農地に対する除草対策を推進するとともに、農業委員会が中心となって貸し出し希望のある農地を担い手へと結びつけ、農地の有効活用を図ることを目的とします。

【内容】
ＪＡくまがやが実施している除草耕耘等の受託事業「アグリサポート」と連携を図り、市の補助金対象となる農地に対して除草費用等の一部を補助します。
○ＪＡくまがやが購入する除草機器購入費の５０％を補助
○条件に適合した農地に対し、除草費用の４０％以内を１年間に限り補助
〔補助対象となる農地〕
①担い手への貸し出しを希望する農地であること
②農業委員会が実施する農地パトロールにおいて、荒廃もしくは荒廃のおそれがあると判断された農地などで、除草作業にあたりトラクター装着型草刈機や乗用型草刈機が必要となる農地であること
○ＪＡくまがやに対し、諸費用として受託費総額の２０％を補助

【効果】
荒廃した農地の所有者には、高齢化や相続等により農地を所有した方が多いため、除草用の農機具類を持たず除草の手立てがない場合が多くあります。このため、本事業の活用により比較的安価に除草を依頼することが可能となり、また、補助対象となった農地を農業委員や農地利用最適化推進委員が担い手農家等にあっせんすることで、遊休農地の解消と担い手への農地の集約をより一層図ることが期待できます。

2 特徴やPRポイント

全国的にも大きな課題となっている農地の遊休化を解消するために、自治体とＪＡが積極的に連携し除草対策に取組む事業は、埼玉県農業会議に確認したところ全国的にも例がない取組みであるとのことです。
多くの農業委員会が農地の遊休化への対策を苦慮している中で、農業委員や農地利用最適化推進委員がこの事業に積極的に関わることで、農業委員会の活動の必須業務である「遊休農地の解消」と「担い手への集積」を進めていくことが期待できます。

3 その他

※ 資料の有無（ 有 ・ 無 ）

担当者　農業委員会事務局　　担当　森田
連絡先　TEL048-524-1111　　内線　404

平成３１年２月１４日 記者会見資料

【荒廃した遊休農地等の有効活用を支援します！】

○事業の目的〔熊谷市農地利用最適化推進事業（平成３１年度新規事業）〕

熊谷市農業委員会は、農業者の高齢化や後継者不足等の理由により年々増加している遊休農地(荒廃農地)を解消するため、ＪＡくまがやと連携して荒廃した遊休農地に対する除草対策を推進するとともに、農業委員会が中心となって貸出し希望のある農地と担い手農家を結び付けることにより、農地の有効活用を図ることを目的に農地利用最適化推進事業を開始します。

〔農業委員会事務局〕
- ○ＪＡくまがやとの連携
- ○除草依頼受付　※ＪＡ非組合員
- ○除草費用等の一部補助

補助金交付（補助対象農地）

管理運営

〔貸出希望者〕

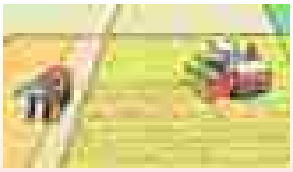
- ○高齢により耕作又は管理ができない
- ○後継者がいない
- ○経営規模を縮小したい
- ○相続等により農地を所有している非農家

登 録

熊谷市農地情報
【農地バンク】
- ○貸出し希望の農地情報集約
- ○農地所有者への登録呼掛け
- ○担い手農家等への斡旋

閲 覧

〔借受希望者〕



- ○経営規模拡大を希望している農家又は法人
- ○新規就農希望者
- ○新規に農業参入予定の企業又は規模の拡大

斡旋等により交渉成立
〔利用権の設定〕
〔農地中間管理事業の活用〕
荒廃農地解消

協力･支援･あっせん

〔熊谷市農業委員会〕

〔農業委員・農地利用最適化推進委員〕
- ○農地所有者へ除草の斡旋
- ○農地情報への登録の斡旋
- ○担い手農家等への農地の斡旋
- ○新規就農者等への農地の斡旋
- ○除草作業協力者の登録斡旋

除草依頼・農地管理依頼

協力･支援･あっせん

※市補助金を利用する場合は、熊谷市農地情報に登録する必要があります。

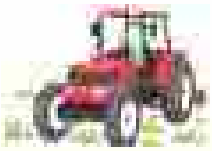
〔ＪＡくまがやアグリサポート事業〕
※農地の除草耕耘等の受託事業

- ○除草依頼受付（ＪＡ本店、各支店）※ＪＡ組合員
- ○現地確認、除草依頼者との調整
- ○除草、耕耘の受託及び農地管理受託
- ○除草作業協力者登録の呼掛け
- ○農業委員会(熊谷市)との連携事業
  - ・農地情報の確認
  - ・市補助金の活用及び運用
    ※市補助金対象の農地に限ります。
  - ・農業委員及び農地利用最適化推進委員との連携

登 録

登録の呼掛け

〔除草作業協力者〕



- ○トラクター耕耘や装着式草刈機等で除草作業ができ、ＪＡくまがやアグリサポート事業に協力していただける農家等

熊谷市農業委員会事務局

＜速報＞
平成３１年度当初予算（案）概要
平成３１年２月１４日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
スポーツコミッション事業

1 事業概要

【目的】
スポーツと観光の融合によるスポーツツーリズムを推進するため、スポーツの主催者や来訪者のニーズに対し柔軟に対応できるワンストップサービス窓口（スポーツコミッション）を設立し、大規模スポーツ大会の誘致等に取り組み、スポーツを通じた交流人口の拡大を図るとともに、観光事業とも密接に連携して地域経済の活性化を目指します。

【内容】
平成３２年4月のスポーツコミッションの本格稼働を目指し、平成３１年度は、基本計画の策定を行うための各スポーツイベントの調査を始め、主催者や来訪者のニーズ等の詳細把握を行うほか、スポーツや観光関連の団体を構成員とする協議会を立ち上げ、地域経済の活性化につながる仕組みや体制づくりを行います。

2 特徴やPRポイント

・事業主体は熊谷市です。

・本市には、国際基準に対応したスポーツ施設を有する「熊谷スポーツ文化公園」や合宿などの多様なニーズに対応できる熊谷スポーツ・文化村「くまぴあ」などのスポーツ環境が整っていることから、この優位性をまちづくりに生かすため、ラグビーワールドカップ以後も継続的に大規模な大会や合宿などを誘致することで、交流人口の増加を図り、地域経済の活性化や発展につなげたいと考えています。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　　総合政策部　スポーツ観光課　担当　水野
連絡先　TEL　０４８－５２４－１１１１　内線　391

＜速報＞
平成３１年度当初予算（案）概要
平成３１年２月１４日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
自転車シェアリング事業

1 事業概要

【目的】
ラグビーワールドカップ２０１９™が本市で開催されることを踏まえ、社会実験として自転車シェアリング事業を実施し、熊谷駅周辺における短距離移動の利便性及び回遊性の向上により、来街者をまちなかへ誘導することでまちなかの活性化を図ります。
【内容】
会員登録を済ませた利用者が、自転車本体に装着されたスマートキーをスマートフォンアプリの操作により解錠・施錠でき、市内中心市街地の３か所に設置した自転車ポートから貸出場所と異なる場所へ乗り降りすることができます。
利用料金プラン（予定）　50円/20分又は700円/日
利用時間（予定）　午前８時～午後８時　※返却は２４時間可能
【効果】
中心市街地には歴史的な寺社のほか本市の夏の名物「雪くま」、熊谷産の小麦を使用した「熊谷うどん」や「熊谷うまいもんカップ」にエントリーした魅力的なグルメ店舗があり、これらを回る観光や買い物、ビジネス利用時において、手軽で便利な自転車を利用することで、回遊性の向上により中心市街地の活性化を図ります。

2 特徴やPRポイント

(特徴)
①スマートフォンアプリを登録することで、スマートキーに表示されたＱＲコードを読み取るだけで解錠し利用開始できます。返却は、自転車の鍵を回してアプリの返却ボタンを押すだけです。
②借りたポート以外へ返却が可能です。
③熊谷駅自転車駐車場に設置予定の路上端末機により現金や電子マネーに対応します。
(ＰＲポイント)
熊谷市文化財・観光ガイドナビアプリ「くまここ」と連動し１日料金プランを設定することで、まちなかの店舗を回るだけでなく、市内全域の史跡等を回る観光にも利用でき本市の魅力を何倍も楽しんでいただけます。

3 その他

・予定自転車台数　５０台
※ラグビーワールドカップ２０１９開催時は１００台に増車して対応
・ポート設置場所（３か所）　熊谷駅自転車駐車場・熊谷市役所・大型商業施設

※ 資料の有無（ 有 ・ 無 ）

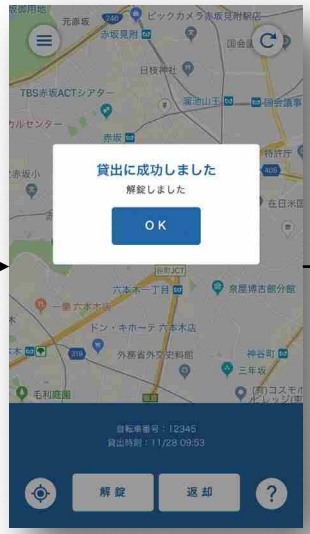
担当者　産業振興部　商工業振興課　担当　高荷、野辺
連絡先　TEL　048－524－1111　内線　545

INTERSTREET車載型　～車種　ベガス（ブリヂストンサイクル社製）～

※イメージ画像

INTERSTREET車載型　～スマホアプリ操作画面～

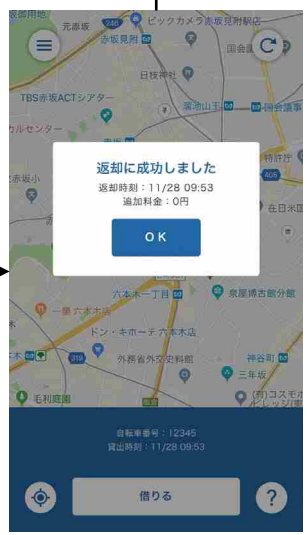
アプリ画面・貸出前



アプリ画面・貸出時

アプリ画面・貸出中

手動・ロック施錠



アプリ画面・返却時

メニュー ・ポート一覧 ・アカウント情報 ・決済情報 ・利用履歴 ・お知らせ ・ヘルプ	・ルールとマナー ・利用規約 ・このアプリについて ・ログアウト	ポート詳細情報（右図） ・ポート写真 ・ポート名 ・貸出可能数と返却可能数 ・住所 ・営業時間 ・アクセス ・［現在地からの経路］ ・［よく利用するポートに登録］ ・運営会社

※上記アプリ画面および
　左記のメニュー構成はイメージです。

＜速報＞
平成３１年度当初予算（案）概要
平成３１年２月１４日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
聖天山周辺地区景観形成事業　ー市道妻沼１１３５号線の整備ー

1 事業概要

【目的】
国宝・歓喜院聖天堂周辺の景観形成のため、聖天堂と本坊を結ぶ市道妻沼１１３５号線について、参道空間をイメージした道路として整備を行います。

【内容】
延長１３４ｍ、車道幅員５ｍ、歩道幅員両側各３ｍの道路として再整備を行います。

【経緯・経過】
平成２９年度　測量及び実施設計
平成３１年度　実施工事

【効果・影響】
参拝者や地域の方の歩きやすさや安全の向上が図られ、妻沼聖天山周辺地区と本市のイメージアップにつながります。

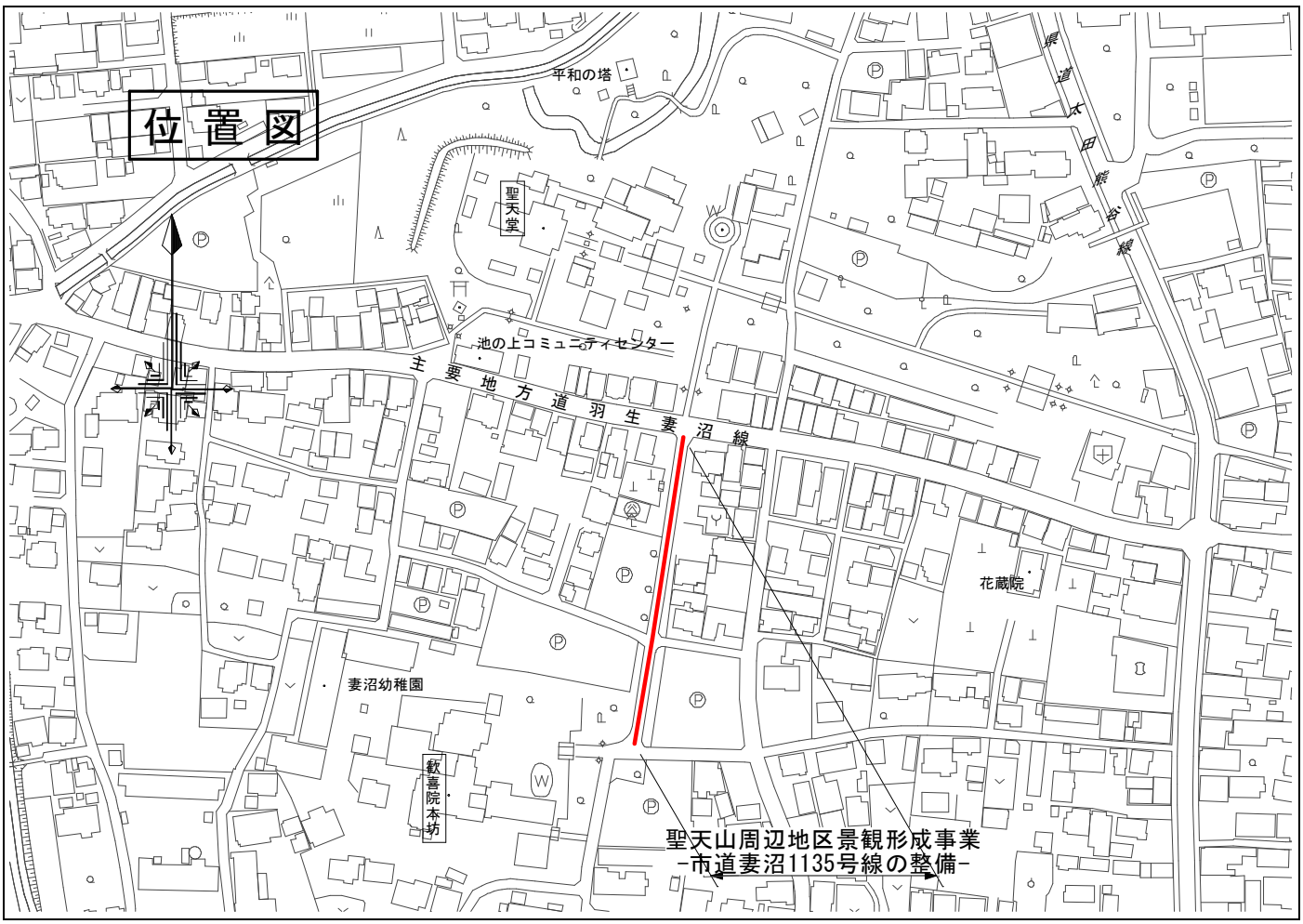
2 特徴やPRポイント

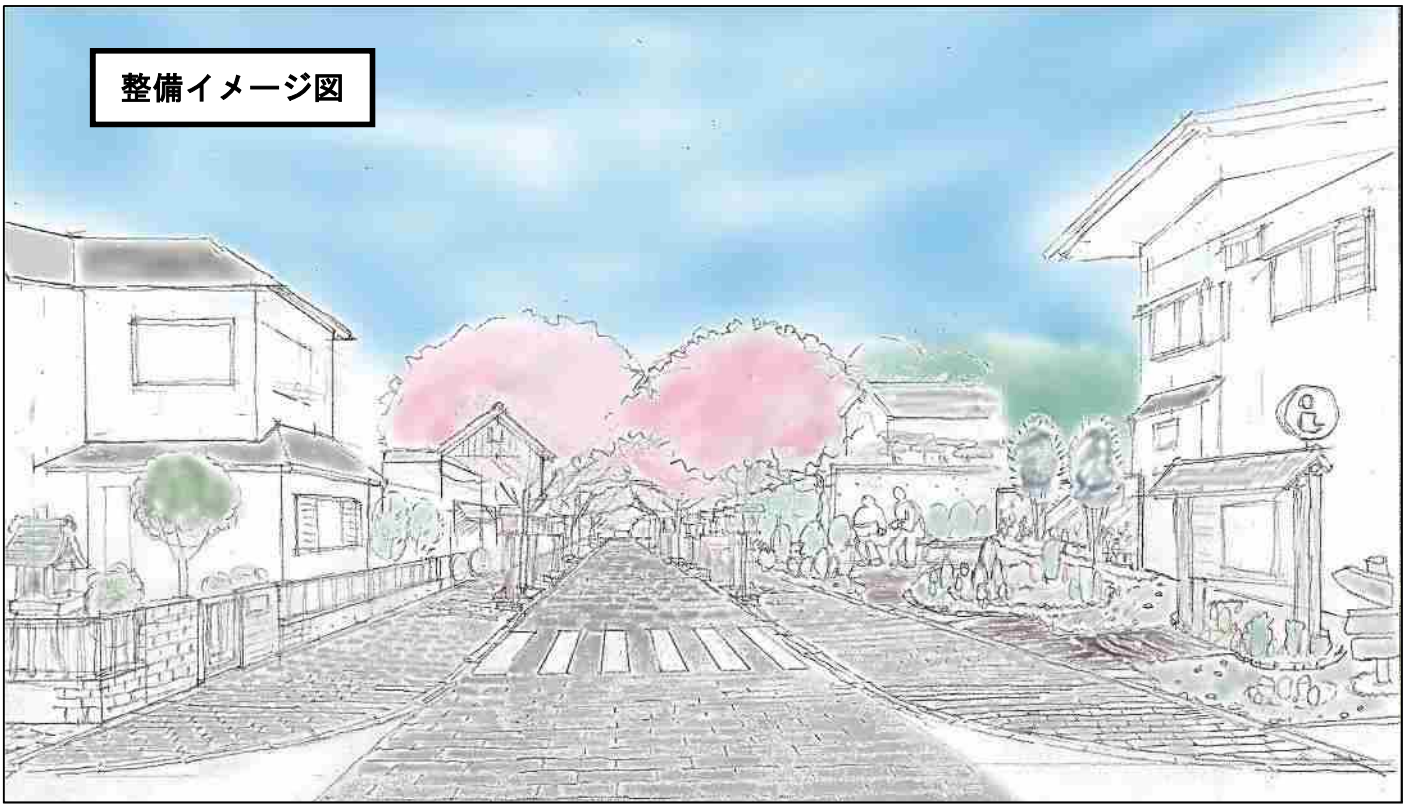
この道路は、地域住民の方々の意見を取り入れ策定した「聖天山周辺地区にふさわしい門前町景観まちづくりプラン」に基づき、車道は石畳の参道空間をイメージしたアスファルト舗装を、歩道には自然石風の遮熱性透水平板を施工します。
また、聖天山は東国花の寺のうち、桜の寺とされていることから、桜を植樹し、聖天堂から本坊まで連続した桜並木が形成される予定です。

3 その他

※ 資料の有無（ 有 ・ 無 ）

担当者　都市整備部　都市計画課　担当　福島　大洋
連絡先　TEL0493-39-4814　内線


位置図
平和の塔
聖天堂
池の上コミュニティセンター
主要地方道羽生妻沼線
県道太田熊谷線
花蔵院
妻沼幼稚園
歓喜院本坊
聖天山周辺地区景観形成事業
-市道妻沼1135号線の整備-


整備イメージ図

＜速報＞
平成３１年度当初予算（案）概要
平成３１年２月１４日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
熊谷運動公園管理運営経費

1 事業概要

【目的】
プロ野球のみならず、一般の野球を行う方にも楽しみを感じてもらうとともに、観戦する方の満足度の向上を図ります。

【内容】
スピードガン（測定器）を設置し、投手が投球した球速を測定し、バックスクリーン及びバックネット裏に球速表示盤を設置して表示します。

【効果】
プロ野球イースタンリーグ、ＢＣリーグや高校野球埼玉大会等レベルの高い試合が開催されており、観戦する方に野球の醍醐味を実感していただき、歓声に沸き上る試合を演出することが期待できます。

2 特徴やPRポイント

熊谷運動公園の野球場については、平成２９年度にトイレの改修工事を行いました。今回、球速表示盤の設置を行うことにより、より魅力的な施設として市民に足を運んでもらえる施設となります。

3 その他

平成２９年度利用実績
①プロ野球イースタンリーグ巨人ｖｓ楽天（観衆４，８５０人）
②ＢＣリーグ１０試合（うちオープン戦２試合）
③高校野球試合　２１日
④首都大学リーグ　４日

※ 資料の有無（　有　・　○無　）

担当者　　都市整備部　　公園緑地課　　担当　高橋
連絡先　TEL　0493-39-4806（直通）　　内線

＜速報＞
平成３１年度当初予算（案）概要
平成３１年２月１４日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
FMクマガヤ市政情報提供事業

1 事業概要

【目的】
コミュニティＦＭ放送を活用し、市政情報を分かりやすく発信します。

【内容】
ＦＭ.クマガヤ株式会社と委託契約を締結し、コミュニティＦＭ「ＦＭクマガヤ」（今春開局、周波数８７．６ＭＨｚ）で、市の事業やイベント、観光情報などをお知らせする情報番組を放送します。また、尋ね人や熱中症予防などの緊急時の放送も随時行うほか、ＣＭの作成・放送も行います。

【効果】
コミュニティＦＭ放送を活用することにより、普段市の広報紙をあまり読まない若年層に向けて、情報を発信することができます。
広報紙やホームページなどの既存の媒体に加え、ＦＭ放送でも情報を発信することで、市の各種制度の更なる活用や、イベントの集客増加などが期待できます。

2 特徴やPRポイント

市とＦＭ.クマガヤ株式会社とは、平成３１年２月に「防犯・防災情報の緊急放送に関する協定」を締結し、人命に係る犯罪や災害の発生又は発生が危惧される場面において、防犯・防災情報を無料で緊急放送してもらうこととなりました。

3 その他

埼玉県内で、コミュニティＦＭ放送により行政情報を発信している自治体は、以下の６市です。
・入間市(エフエム茶笛(チャッピー))
・鴻巣市（フラワーラジオ）
・さいたま市（REDS WAVE）
・川口市（FM Kawaguchi）
・越谷市（ハローハッピーこしがやエフエム）
・朝霞市（クローバーラジオ）

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　市長公室　広報広聴課　担当　増田 修司
連絡先　TEL　０４８－５２４－１１１１　内線　２０６

＜速報＞
平成３１年度当初予算（案）概要
平成３１年２月１４日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
統合型GIS整備事業

1 事業概要

【目的】
窓口業務の迅速化等の住民サービス向上、行政事務の効率化、住民ニーズへの対応などを図っていくため、各部署で保有、分散管理されている地図情報をまとめて運用することが可能となる統合型ＧＩＳを整備します。
【内容】
全庁的に地図情報が利用可能となる統合型ＧＩＳを導入します。
併せて、インターネットを通じて市民への情報提供を行うための公開型ＧＩＳを整備します。
【影響・効果】
統合型ＧＩＳでは、所管している地図と他部署の地図や航空写真、住宅地図等を重ね合わせて利用することが可能となり、部署間でのコミュニケーションの円滑化や相互認識の共通化が図れるため、行政事務の効率化が期待できます。
公開型ＧＩＳでは、公共施設等の地図情報をインターネット上に公開することにより、市民が必要とする情報を、自宅のパソコンやスマートフォン等で詳しく確認することができるようになります。
また、災害対策向上のため、避難所情報やハザードマップ等の活用も検討してまいります。

2 特徴やPRポイント

本市は分庁舎方式を採用しているため、地図に係る情報や資料を入手する際に庁舎間を移動しなければならないことがありますが、統合型ＧＩＳ導入後は、他庁舎の部署で所管している地図情報についても統合型ＧＩＳで確認できるようになり、行政事務の効率化や市民サービスの向上が期待できます。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　総合政策部　情報政策課　担当　高橋
連絡先　TEL048-524-1111　内線　230

＜速報＞
平成31年度当初予算(案)概要
平成31年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
熊谷市議会議員一般選挙事業

1 事業概要

【内容】
平成３１年４月３０日任期満了の熊谷市議会議員一般選挙を執行します。
選挙期日は「地方公共団体の議会の議員及び長の任期満了による選挙等の期日等の臨時特例に関する法律により平成３１年４月２１日に決定しました。
＜参考＞
定数３０人（前回平成２７年：定数３０人、立候補者数３４人、投票率　４６．８９％）

熊谷市選挙人名簿定時登録者数(平成３０年１２月３日現在)
１６６，７０４人

2 特徴やPRポイント

・選挙権年齢が満２０歳以上から満１８歳以上に引き下げられた初めての熊谷市議会議員一般選挙となります。
・期日前投票所として熊谷文化創造館（さくらめいと）会議室を追加します。
・熊谷市議会議員一般選挙のほか、埼玉県議会議員一般選挙、参議院議員通常選挙及び埼玉県知事選挙において、保護者等と一緒に投票所を訪れた小・中学生を対象に、抽選で景品（蛍光ペンセット、３００人）をプレゼントする選挙啓発キャンペーンを行います。

3 その他

前回　平成２７年４月２６日執行
選挙当日有権者数　１６２，５４０人
投票率　４６．８９％

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　選挙管理委員会事務局　　担当　橋本　智昭
連絡先　TEL　048(524)1111　　内線　３９７・３９８

＜速報＞
平成３１年度当初予算（案）概要
平成３１年２月１４日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
総合交通体系整備促進事業（くまぴあ経由路線試験運行分）

1 事業概要

【概要】
熊谷市スポーツ・文化村「くまぴあ」を経由する新規路線の検討のため、社会実験として民間路線バス、市内循環バス「ゆうゆうバス」による試験運行を行います。

【目的】
・熊谷西環状線の開通を契機とした、熊谷市スポーツ・文化村「くまぴあ」へのアクセス向上
・路線開設に向けた市民ニーズの把握

【内容】
《試験運行ルート（２ルート）》
ルート① 民間路線バスルート
・概要：熊谷駅～バイパス経由～妻沼（朝日自動車株式会社の既存路線）の「くまぴあ」経由とする延伸化。
・便数：(平日)１日３０便、(土日祝)１日２７便
ルート② 市内循環バス「ゆうゆうバス」ルート
・概要：熊谷駅南口～くまぴあ～籠原駅北口
・便数：１日７便

《実施期間》
平成３１年度上期の約３か月間

2 特徴やPRポイント

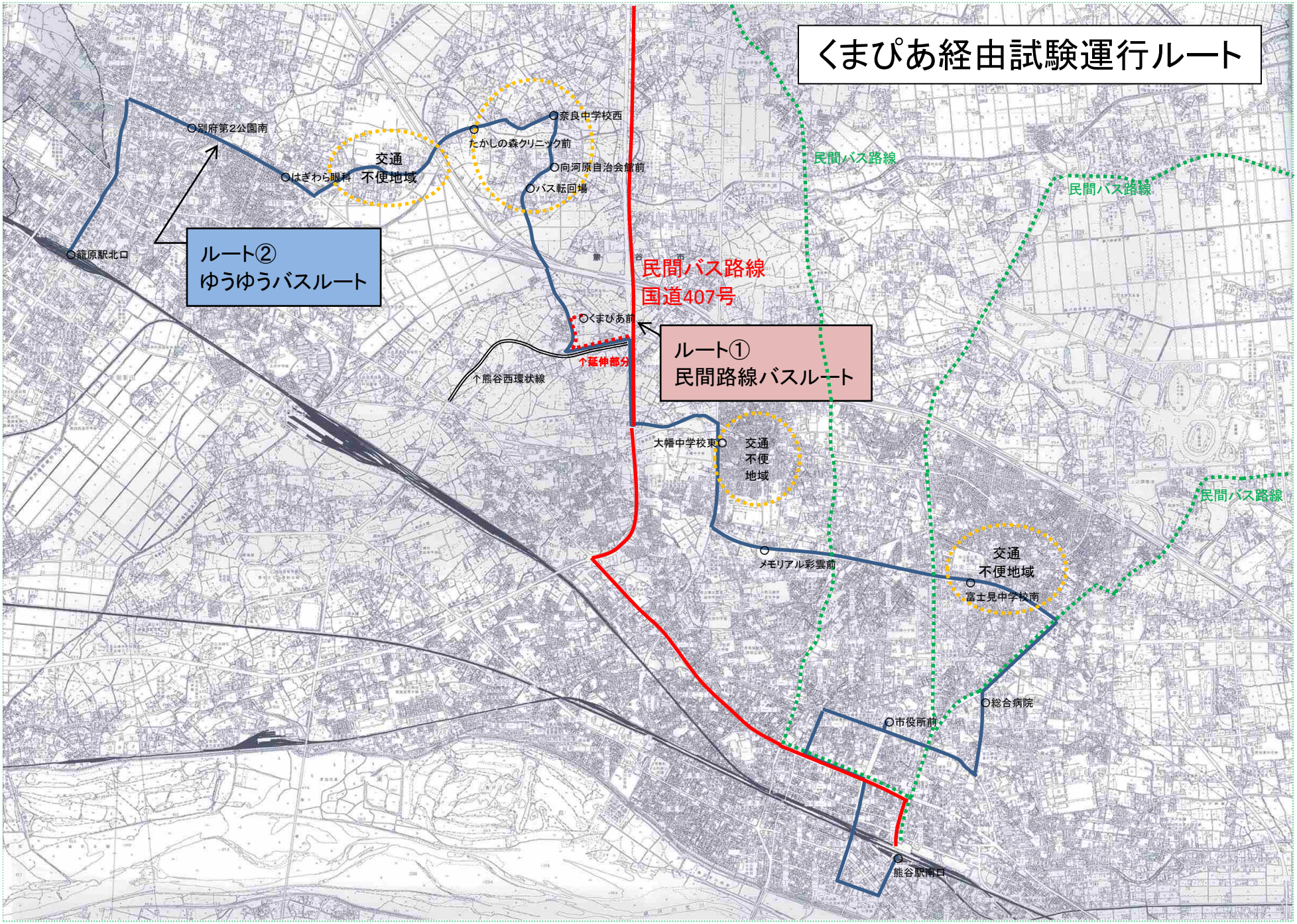
ルート①では、妻沼地域から「くまぴあ」へのアクセス向上を図ります。
ルート②では、市内の交通不便地域を経由するルート案としており、熊谷駅や籠原駅を利用する当該地域住民の利便性向上も図られます。

3 その他

経由ポイントごとの利用者数等の情報を収集するほか、利用者アンケート等によるニーズの分析など、事業化に向け詳細な検討を行います。

※ 資料の有無（ 有 ・ 無 ）

担当者　総合政策部　企画課　担当　西村
連絡先　TEL 048-524-1111　内線 215


くまぴあ経由試験運行ルート
別府第2公園南
はぎわら眼科
交通
不便地域
たかしの森クリニック前
奈良中学校西
向河原自治会館前
バス転回場
籠原駅北口
ルート②
ゆうゆうバスルート
民間バス路線
国道407号
くまぴあ前
延伸部分
熊谷西環状線
ルート①
民間路線バスルート
民間バス路線
民間バス路線
民間バス路線
大幡中学校東
交通
不便
地域
メモリアル彩雲前
交通
不便地域
富士見中学校南
総合病院
市役所前
熊谷駅南口